平成 25 年度事業計画および予算

平成 25 年度事業計画

事業計画の概要

日本透析医会は，昭和 62 年 7 月に社団法人として設立（平成 24 年 4 月に公益社団法人に移行）以来，本年 7 月で満 26 年を迎える．法人設立後現在に至るまで一貫して適正な人工透析療法の質的向上と標準化を目的とした調査・研究を重ね，その成果を会員は元より医療関係者，透析患者に広く周知すべく医会雑誌・マニュアル・ガイドライン（小冊子）の発行や，ホームページ等を通じて努力してきたところである．また，腎移植普及推進への協力や人工透析療法に従事する医療関係者への教育研修，医療安全対策，腎不全医療を推進するための学術研究に対する助成等に取り組んできている．

同時に，災害時における国，地方公共団体等が行う腎不全医療に関する安全対策に協力してきている．とりわけ災害時における透析医療機関，透析患者の状況把握，並びに水，医薬品等の確保のための情報収集に必要な「災害時情報ネットワーク」の拡充・運用と，災害時情報伝達訓練の実施により万全の体制整備に努力してきている．

平成 25 年度においては，以下の事業の遂行に取り組むこととする．

1. 透析医療の適正化に関する調査研究事業

(1) 適正な透析療法の事例検討及び透析療法の質的向上と標準化を目的とする調査・研究

《適正透析医療普及推進委員会》［委員会のもとに 5 部会を置く］

1) 適正透析導入部会

適正な導入時期に関する調査・研究

2) 維持透析療法部会

適正な維持透析療法に関する調査・研究

① 外来維持透析療法における諸検査（検体，生体，画像）についての効果的実施頻度等の検討

② 保険診療マニュアルの改訂

3) 適正透析普及部会

適正な透析療法の普及推進を行う

4) 医療廃棄物対策部会

医療廃棄物対策に関する調査・研究

5) 在宅血液透析部会

① 在宅血液透析に関する透析施設の意識調査・研究

② 多様化に対応した在宅血液透析の役割とそれに伴う諸問題についての検討

(2) 適正な透析医療経済・経営に関する調査・研究

《適正医療経済・制度調査研究委員会》

① レセプト（診療報酬明細書）分析

② 第 18 回透析保険審査委員懇談会開催

《透析医療経営検討委員会》

① 透析医療機関の経営状況の分析の実施（透析医療機関経営・施設実態調査の実施）

② 維持透析療法における医薬品費の調査・研究

③ 在宅透析の経済面の調査・研究

(3) 透析医療の現状を踏まえ，将来的に良質で効率的な透析医療提供体制の確保に向けた調査研究

《適正透析に関するグランドデザイン作成に向けた検討会》

① 透析医療機関の経営環境の分析と予測

② 透析提供体制の分析と予測

③ 高齢化による社会的入院，送迎，介護保険との問題と将来予測

④ 透析の質と QI の構築，情報公開について

2. 適正な人工透析療法の普及（広報活動及び刊行物の発行）事業

《広報委員会》

① 機関誌（医会雑誌）年 3 回（4 月，8 月，12 月）発行

② 紙面の充実（透析医療，医療経済，災害問題，各種調査報告等のタイムリーな掲載）

3. 腎臓病（腎移植普及を含む）対策事業

《CKD（慢性腎臓病）対策委員会》

① 関係団体への協力事業（公益社団法人日本臓器移植ネットワークとの連携協力）

② 臓器移植普及推進月間・臓器移植推進国民大会への協力

③ 会員に対する腎移植の啓発・教育（脳死問題を含む講演会及び腎移植広報活動等）

④ 患者に対する腎移植推進（会員の日常業務として，地域患者を対象とする推進協力）

⑤ 透析医学会などの関連学会との連携を強化するための連絡会議を実施

4. 人工透析療法に関する医療従事者の教育研修事業

《研修委員会》

① 透析医療従事者教育研修会の開催（春期研修会：東京，秋期研修会：大阪）

② 関係学会・団体との教育研修協力

③ 地域医療システム確立のための都道府県単位で開催される研修会等の支援

5. 公募研究助成事業

《研究助成審査委員会》

① 人工透析療法の安全性及び有効性の向上並びに腎不全医療を推進するための学術研究に対する助成

② 公募（リーフレット作成，ホームページ掲載，業界紙掲載依頼）による助成事業の充実，拡大

6. 災害時おける国，地方公共団体等が行う腎不全医療に関する安全対策への協力事業

《災害時透析医療対策委員会》

① 厚生労働省防災業務計画に基づく災害時協力体制の整備

② 災害時における緊急透析医療システムの構築・運営

- 「災害時情報ネットワーク」を軸にした災害時情報共有体制の整備・運営
  （第 14 回情報伝達訓練，サーバーの管理，メーリングリストの運営を含む）
- 災害時支援人材・資材派遣システムの構築
- 透析医療災害対策マニュアルの作成

③ 日本透析医学会災害学術調査 WG への協力

7. 医療安全対策事業

《医療安全対策委員会》［委員会のもとに2部会を置く］

(1) 感染防止対策部会

① 院内感染実態調査及び感染防止対策の調査・研究

② 「透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル」の改訂（2年計画）

- HCV Ab⊕，ウイルス⊖Pt に対する対応の改訂
- インフルエンザに対する処置の変更
- HIV 患者への対応の改訂

(2) 医療事故対策部会

医療事故（透析医療に関わり，感染事故を含む）の全国調査

平成 25 年度予算

1.　収支予算書（損益ベース）（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）

（単位：円）

勘 定 科 目	平成 25 年度予算額（A）	前年度予算額（B）	対前年度比較増△減（A）－（B）
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1.　経常増減の部			
⑴　経常収益			
①　研究助成事業基金運用益			
研究助成事業基金受取利息	51,000	60,000	△ 9,000
②　受取入会金			
受取入会金	300,000	510,000	△ 210,000
③　受取会費			
受取会費	90,000,000	91,000,000	△ 1,000,000
④　受取寄付金等			
受取寄付金	30,000,000	30,000,000	0
受取参加費	600,000	600,000	0
⑤　雑収益			
受取利息	10,000	15,000	△ 5,000
経常収益計	120,961,000	122,185,000	△ 1,224,000
⑵　経常費用			
事業費			
調査・研究，普及，教育研修事業	66,544,000	68,877,000	△ 2,333,000
給与手当	8,800,000	8,500,000	300,000
退職給付費用	174,000	250,000	△ 76,000
福利厚生費	40,000	20,000	20,000
会議費	1,230,000	1,100,000	130,000
旅費交通費	9,600,000	10,500,000	△ 900,000
通信運搬費	2,665,000	2,730,000	△ 65,000
事務消耗品費	1,100,000	1,100,000	0
印刷製本費	12,260,000	15,185,000	△ 2,925,000
水道光熱費	140,000	180,000	△ 40,000
家賃	2,000,000	1,867,000	133,000
原稿料	2,700,000	2,700,000	0
謝金	120,000	120,000	0
諸会費	100,000	100,000	0
警備等委託費	380,000	380,000	0
ホームページ管理費	340,000	340,000	0
レセプト調査	8,500,000	8,000,000	500,000
日本臓器移植ネットワーク助成	5,100,000	5,100,000	0
調査・研究費	2,500,000	2,500,000	0
研修セミナー開催費	6,500,000	5,930,000	570,000
研修費	2,000,000	2,000,000	0
雑費	295,000	275,000	20,000
研究助成事業	31,567,000	30,368,000	1,199,000
給与手当	4,400,000	4,250,000	150,000
退職給付費用	87,000	125,000	△ 38,000
福利厚生費	20,000	10,000	10,000
会議費	60,000	60,000	0

（単位：円）

勘 定 科 目	平成 25 年度予算額（A）	前年度予算額（B）	対前年度比較増△減（A）－（B）
旅費交通費	350,000	350,000	0
通信運搬費	115,000	115,000	0
事務消耗品費	500,000	500,000	0
印刷製本費	305,000	275,000	30,000
水道光熱費	70,000	90,000	△ 20,000
家賃	1,000,000	933,000	67,000
謝金	150,000	150,000	0
諸会費	50,000	50,000	0
警備等委託費	190,000	190,000	0
ホームページ管理費	170,000	170,000	0
研究助成費	24,000,000	23,000,000	1,000,000
雑費	100,000	100,000	0
安全対策事業	13,054,000	10,845,000	2,209,000
給与手当	2,200,000	2,125,000	75,000
退職給付費用	44,000	63,000	△ 19,000
福利厚生費	10,000	5,000	5,000
会議費	400,000	280,000	120,000
旅費交通費	1,940,000	1,240,000	700,000
通信運搬費	1,450,000	510,000	940,000
事務消耗品費	400,000	550,000	△ 150,000
印刷製本費	170,000	55,000	115,000
調査委託費	1,000,000	0	1,000,000
水道光熱費	35,000	45,000	△ 10,000
家賃	500,000	467,000	33,000
諸会費	25,000	25,000	0
警備等委託費	95,000	95,000	0
ホームページ管理費	85,000	85,000	0
システム管理費	3,100,000	4,150,000	△ 1,050,000
災害発生時対応諸経費	1,500,000	1,000,000	500,000
雑費	100,000	150,000	△ 50,000
事業費計	111,165,000	110,090,000	1,075,000
管理費			
給与手当	6,600,000	6,375,000	225,000
退職給付費用	131,000	188,000	△ 57,000
福利厚生費	30,000	15,000	15,000
会議費	50,000	30,000	20,000
常任理事会費	3,500,000	3,500,000	0
総会・理事会費	2,400,000	2,400,000	0
旅費交通費	1,500,000	950,000	550,000
通信運搬費	150,000	150,000	0
事務消耗品費	750,000	750,000	0
印刷製本費	210,000	165,000	45,000
水道光熱費	105,000	135,000	△ 30,000
家賃	1,500,000	1,400,000	100,000
会計委託費	1,200,000	1,200,000	0
警備等委託費	285,000	285,000	0
報酬	600,000	600,000	0
祖税公課	5,000	5,000	0
慶弔費	50,000	50,000	0

（単位：円）

勘 定 科 目	平成 25 年度予算額（A）	前年度予算額（B）	対前年度比較増△減（A）－（B）
諸会費	75,000	75,000	0
ホームページ管理費	255,000	255,000	0
雑費	150,000	150,000	0
管理費計	19,546,000	18,678,000	868,000
経常費用計	130,711,000	128,768,000	1,943,000
当期経常増減額	△ 9,750,000	△ 6,583,000	△ 3,167,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用	0	0	0
経常外収益計			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,750,000	△ 6,583,000	△ 3,167,000
一般正味財産期首残高	242,925,805	249,508,805	△ 6,583,000
一般正味財産期末残高	233,175,805	242,925,805	△ 9,750,000
Ⅱ 正味財産期末残高	233,175,805	242,925,805	△ 9,750,000

日本透析医会通常総会資料および主な決定事項

日本透析医会通常総会が平成 25 年 5 月 19 日（日）午後 1 時からコクヨホールにて開催された．以下に，その際の資料（抜粋）と主な決定事項を報告する．

日本透析医会通常総会資料
平成 25 年度通常総会報告

第１号議案

平成 24 年度事業報告書

第１　会　議

総　　会

1.　平成 24 年度通常総会

平成 24 年 5 月 20 日　第 1 号議案　平成 23 年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件

第 2 号議案　公益社団法人日本透析医会の定款修正の承認を求める件

理 事 会

1.　平成 24 年 5 月 20 日

⑴　平成 24 年度事業計画（案）及び予算（案）について

⑵　通常総会付議事項について

第 1 号議案　平成 23 年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件

第 2 号議案　公益社団法人日本透析医会の定款修正の承認を求める件

2.　平成 25 年 3 月 15 日

⑴　平成 25 年度事業計画（案）及び予算（案）について

常任理事会

1.　平成 24 年 4 月 27 日

協議事項

⑴　平成 24 年通常理事会及び通常総会資料について

⑵　血液透析回路の標準化について（透析医学会学術委員会）

⑶　適正透析普及部会（支部長会：24. 6. 22）等の開催について

⑷　各支部開催の研修会，講演会経費の補助について（研修委員会より）

⑸　医療施設自家発電設備整備事業（東京都）について

⑹「自主的に公開する透析医療の質の評価指標に関するご意見のお願い」について

報告事項

⑴　平成 23 年度決算

⑵「透析患者の高齢化による問題点と将来予測についてのアンケート調査」及び「特定除外制度の廃止方針に対するアンケート調査」

⑶　平成 23 年度災害時情報ネットワークシステム事業費補助金交付額決定通知書

⑷「透析医療機関経営・施設実態調査 2011」

2.　平成 24 年 5 月 19 日

協議事項

⑴　平成 24 年通常理事会及び通常総会について

報告事項

⑴　透析患者の高齢化による問題点と将来予測についてのアンケート（回収状況）

⑵　特定除外制度の廃止方針に対するアンケート調査（回収状況）

3. 平成 24 年 6 月 15 日

協議事項
(1) 平成 24 年 10 月及び今後の研修セミナー開催について
(2) 平成 24 年度透析に関わる調査研究費について（適正透析導入部会より）
(3) 各支部開催の研修会，講演会経費の補助について（研修委員会より）
(4) 支部長会議について
(5) 保険審査委員懇談会について

報告事項
(1) アンケート回収状況
「透析患者の高齢化による問題点と将来予測についてのアンケート調査」
「特定除外制度の廃止方針に対するアンケート調査」
「自主的に公開する透析医療の質の評価指標」
(2) 平成 24 年度レセプト分析調査
(3) 委員会報告
研修委員会

4. 平成 24 年 7 月 27 日

協議事項
(1) 各支部開催の研修会，講演会経費の補助について（研修委員会より）

報告事項
(1) 厚生労働省保険局医療課提出「我が国の透析医療の現況と将来（2012 年版）」
(2) 自主的に公開する透析医療の質の評価指標
(3) 委員会報告
広報委員会

5. 平成 24 年 9 月 28 日

協議事項
(1) 看護師の特定能力の認証に関する医行為分類（案）について
- 行為名・行為の概要一覧（血液透析・CHDF（持続的血液濾過透析）の操作，管理）
- 医行為分類検討シート（案）
- 意見提出様式（イメージ）

(2)「腎臓病の臨床経済に係る協議会」への参加について
(3) 各支部開催の研修会，講演会経費の補助について（研修委員会より）

報告事項
(1) 公募研究助成申請状況
(2) 研修セミナー（10 月 21 日）等スケジュール

6. 平成 24 年 10 月 28 日

協議事項
(1) レセプト分析調査（中間報告）について
(2) 東日本大震災特集号発刊について

報告事項
(1) 委員会報告
広報委員会
(2) 平成 24 年度中間決算

7. 平成 24 年 11 月 30 日

協議事項
(1) 研修セミナーにおける講演録画・録音について
(2) 各支部開催の研修会，講演会経費の補助について（研修委員会より）
(3) 透析医療研究会「東日本大震災による血液透析患者の PTSD の調査研究」に対する経費助成について
(4) 寄付の依頼について

報告事項
(1) 委員会報告
研修委員会
(2) 平成 24 年度公募研究助成審査結果一覧

8. 平成 24 年 12 月 21 日

報告事項
(1) 平成 24 年度レセプト分析調査最終報告

9. 平成 25 年 1 月 25 日

協議事項
(1) 平成 25 年度事業計画（案）策定について
(2) 各支部開催の研修会，講演会経費の補助について（研修委員会より）
(3) 透析医療研究会活動状況の当会ホームページ公開について

報告事項
(1) 委員会報告
在宅血液透析部会
(2) 東日本大震災における被災者の支援活動等に対する厚生労働大臣感謝状及び推薦書について

10. 平成 25 年 2 月 22 日

協議事項
(1) 平成 25 年度事業計画（案）・予算（案）及び理事会について

報告事項
(3) 委員会報告
医療廃棄物対策部会
広報委員会
(4) 平成 24 年度仮決算

11. 平成 25 年 3 月 15 日

協議事項
(1) 理事会について
(2) 平成 25 年度理事会及び通常総会資料について

報告事項
(1) 東日本大震災における被災者の支援活動等に対する厚生労働大臣感謝状の被贈呈者の決定及び感謝状の贈呈について

第 2　委員会

平成 24 年度委員会開催状況

（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

委員会（部会）	開催年月日	備　　考
1. 適正透析医療普及推進委員会 (1) 適正透析導入部会 (2) 維持透析療法部会 (3) 適正透析普及部会 (4) 医療廃棄物対策部会 (5) 在宅血液透析部会	 平成 24 年　6 月 22 日 平成 25 年　1 月 18 日 平成 25 年　1 月 11 日	 支部長会議
2. 適正医療経済・制度調査研究委員会	平成 24 年　6 月 15 日 平成 24 年　6 月 22 日	レセプト分析調査検討会議 保険審査委員懇談会
3. 透析医療経営検討委員会		常任理事会で関連事項協議
4. 透析医療に関するグランドデザイン作成に向けた検討会	平成 24 年 10 月 20 日 平成 25 年　3 月 29 日	
5. 広報委員会	平成 24 年　6 月　8 日 平成 24 年 10 月　5 日 平成 25 年　2 月　8 日	
6. CKD（慢性腎臓病）対策委員会		
7. 研修委員会	平成 24 年　5 月 20 日 平成 24 年 10 月 21 日	
8. 研究助成審査委員会	平成 24 年 10 月 26 日	
9. 災害時透析医療対策委員会	平成 24 年　6 月 22 日	災害時情報ネットワーク会議
10. 医療安全対策委員会 (1) 感染防止対策部会 (2) 医療事故対策部会		

平成 24 年度委員会報告

1. 適正透析医療普及推進委員会

⑴ 適正透析導入部会

愛知県透析医会の透析療法審査活動に助成した．当該審査結果に基づく実態報告については，日本透析医会雑誌に掲載する．

⑵ 適正透析普及部会

6 月 22 日，支部長会議を開催した．公益社団法人移行後の日本透析医会について，当会が実施している調査・アンケートの結果及び継続（定点）調査について，平成 24 年度診療報酬改定経過等々，会長及び各担当理事からの詳細な説明・報告に続き，関連事項の質疑応答を行った．

⑶ 医療廃棄物対策部会

「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」の改定について，在宅医療の感染性廃棄物（在宅血液透析，CAPD における問題点）等について，問題点を整理し意見交換を行った．

⑷ 在宅血液透析部会

多様化する血液透析療法における HHD の定義について，検討および討議を行った．

2. 適正医療経済・制度調査研究委員会

1） 6 月 22 日，第 17 回透析保険審査委員懇談会を開催した．事前にアンケートを実施し検討事項（53 件）要望事項等（62 件）に基づき，基本診療料，医学管理等，検査，投薬・注射，処置，手術の診療行為別に討論を行った．詳細な報告については，日本透析医会雑誌（Vol. 27-No. 3）に掲載した．

2） 透析医療費の定点調査について，全国の病院及び診療所（213 施設）の協力を得て，平成 24 年 6 月分外来透析レセプトの集計分析を実施した．調査結果は 25 年度の日本透析医会雑誌（Vol. 28-No. 1）に掲載する．

3. 透析医療経営検討委員会

平成 24 年 4 月に「特定除外制度の廃止方針に対するアンケート調査」を実施（調査対象数 748 施設，回答数 258 施設）し，調査結果は日本透析医会雑誌（Vol. 27-No. 3）に掲載した．

4. 透析医療に関するグランドデザイン作成に向けた検討会（平成 24 年度 2 回開催）

透析医療機関の経営環境の分析と予測，透析提供体制の分析と予測，高齢化による社会的入院，送迎・介護保険との問題と将来予測，透析の質と QI の構築，情報公開等について検討を重ね，平成 25 年度中に主要なテーマについて報告書としてまとめることとした．

5. 広報委員会（平成 24 年度 3 回開催）

日本透析医会雑誌発刊にかかる企画・編集等を討議し，Vol. 27-No. 1～No. 3 の 3 巻を発行した．

6. CKD（慢性腎臓病）対策委員会

1） 平成 24 年度臓器移植普及推進月間を主催し，臓器移植推進国民大会を後援した．

2） 社団法人日本臓器移植ネットワーク運営事業に助成し，腎移植の普及推進に協力した．

3） 透析医療研究会が実施する「東日本大震災による血液透析患者の PTSD の調査研究」に対し，経費助成した．

7. 研修委員会（平成 24 年度 2 回開催）

1）（公社）日本透析医会研修セミナー（東京）「高齢者の維持透析療法に伴う諸問題」を開催，246 名が参加した．

日　時：平成 24 年 5 月 20 日（日）　午前 8 時 50 分～午後 4 時 40 分

場　所：東京ステーションコンファレンス　サピアタワー 6 階

2）（公社）日本透析医会研修セミナー（名古屋）「維持透析の“今”を問う」を開催，163 名が参加した．

日　時：平成 24 年 10 月 21 日（日）　午前 9 時 00 分～午後 4 時 10 分

場　所：名古屋クレストンホテル　クレストンルーム

3）支部（各都道府県透析医会等）が開催した研修会・講演会経費の助成を行った．

支部等名および研修会・講演会名	講演内容	開催日
〈広島県透析連絡協議会〉 第 14 回広島県透析連絡協議会総会	平成 24 年度診療報酬改定と今後の透析医療	平成 24 年 4 月 7 日
〈新潟県透析医会〉 第 54 回新潟透析懇話会学術集会	透析液清浄化―「達成と維持」への取り組み	平成 24 年 4 月 29 日
〈青森県透析医会〉 第 36 回青森人工透析研究会	腎移植の進歩と課題	平成 24 年 6 月 10 日
〈鹿児島県透析医会〉 第 26 回鹿児島県透析医会総会	新しい ESA 製剤をどのように使い分けるか？	平成 24 年 7 月 14 日
〈大阪透析医会〉 大阪透析医会講演会	透析スタイルについて再考する ―長時間透析から在宅血液透析まで―	平成 24 年 7 月 28 日
〈北海道透析医会〉 北海道透析療法学会・札幌市透析医会合同研修会	国内外の統計にみる透析療法の現況と将来展望	平成 24 年 8 月 31 日
〈福岡県透析医会〉 第 51 回福岡市透析集談会	透析患者の高血圧治療	平成 24 年 10 月 4 日
〈静岡県透析医会〉 第 40 回静岡県腎不全研究会	CKD における病診連携について	平成 24 年 10 月 21 日
〈愛知県透析医会〉 平成 24 年度愛知県透析医会研修会	透析患者のサルコペニアの現状と対策	平成 24 年 11 月 25 日
〈宮城県透析医会〉 第 41 回宮城県腎不全研究会	糖尿病の治療について	平成 24 年 12 月 2 日
〈宮城県透析医会〉 平成 24 年度宮城県透析医会講演会	CKD 診療ガイド 2012 と包括的腎疾患治療戦略	平成 25 年 1 月 19 日
〈島根県透析医会〉 島根県透析医会冬季講演会	腎移植の最近の話題	平成 25 年 1 月 20 日
〈東京透析懇談会〉 第 41 回東京透析懇談会	東日本大震災に学ぶ透析医療の災害対策	平成 25 年 2 月 17 日
〈京都透析医会〉 第 33 回京都透析医会	腎臓内科医が腎臓病と透析の患者さんにできること	平成 25 年 3 月 17 日

4）平成 25 年度の研修セミナーについて，平成 25 年 5 月 19 日（日）東京，平成 25 年 10 月 20 日（日）大阪での開催を決定した．

8. 研究助成審査委員会（平成 24 年度 1 回開催）

公募研究助成申請 24 件について厳正な審査を行い，以下のとおり 16 件（総額 23,700 千円）を採択した．

⑴ 透析症例に対する Helicobacter pylori 除菌療法によるグレリンに関連した予後改善効果の検討
浜松医科大学第一内科 杉本 光繁 2,000,000 円

⑵ 女性透析患者におけるファブリー病のスクリーニング
新潟大学大学院医歯学総合研究科腎医学医療センター 丸山 弘樹 1,500,000 円

⑶ 血管内皮細胞内インスリンシグナルを用いた劣化腹膜治療法の開発
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 美馬 晶 2,000,000 円

⑷ オンライン血液濾過透析の効率性の評価，および合併症の抑制効果の検討
東京女子医科大学血液浄化療法科 岡野 一祥 1,000,000 円

⑸ microRNA の虚血・小胞体ストレス応答制御機能と腎不全における病因論の解明
東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科 稲城 玲子 3,000,000 円

⑹ 維持血液透析患者における食事調査方法の妥当性，ナトリウム摂取量と生体指標の関係
久留米大学医学部内科学講座腎臓内科部門 小池 清美 1,500,000 円

⑺ 腹膜透析療法における補体の役割の解明について
名古屋大学大学院医学系研究科腎臓内科・腎不全総合治療学 水野 正司 1,000,000 円

⑻ エマルジョン化治療用遺伝子経皮デリバリー技術による内シャント狭窄の新規遺伝子治療法の開発
自治医科大学腎臓内科 森下 義幸 1,500,000 円

⑼ 腹膜保護と透析効率増強効果を併せ持つ腹膜透析用ナノ粒子の開発
筑波技術大学保健科学部附属東西医学統合医療センター 平山 暁 2,000,000 円

⑽ 細胞老化制御による血管石灰化の進展抑制機構の解明
福岡歯科大学総合医学講座内科学分野 山田 俊輔 1,000,000 円

⑾ 血液透析システムにおける透析液品質の維持向上に関する細菌叢の生理学的研究
越谷大袋クリニック内科 大薗 英一 1,400,000 円

⑿ AESCULON（非侵襲心拍出量モニター）を用いた脳心血管疾患合併維持透析患者の透析条件と血圧維持療法の適正評価
国立循環器病研究センター 吉原 史樹 800,000 円

⒀ エンドトキシン捕捉フィルターに捕捉される微粒子に関する研究―多人数用透析装置における過酢酸封入洗浄の影響―
東京理科大学大学院工学研究科 今井 基之 1,000,000 円

⒁ マウス腹膜線維症モデルにおける HDAC 阻害剤の線維化抑制効果
長崎大学大学院医歯薬総合研究科 井生久美子 1,000,000 円

⒂ 腹膜中皮細胞障害に関与する遺伝子の網羅的解析と機序の解明
広島大学病院腎臓内科 正木 崇生 1,000,000 円

⒃ 臨床応用を見据えたヒト iPS 細胞から尿細管細胞への分化誘導法の確立
慶應義塾大学病院救急科・腎臓内科 本間康一郎 2,000,000 円

9. 災害時透析医療対策委員会

1） 第 13 回災害時情報ネットワーク会議

6 月 22 日に 77 名の参加を得て開催された．特別講演として，東日本大震災の被災側及び支援側のそれぞれの立場から，「東日本大震災，そのとき福島県の透析はどうなった!! ―福島県全 71 透析施設のアンケート調査報告―」（福島県透析医会/社会保険二本松病院 松岡久光先生），「東日本大震災における富山県での被災透析患者受け入れ」（富山市立富山市民病院 石田陽一先生）の特別講演が行われた後，情報ネットワーク本部から平成 23 年度の活動報告と平成 24 年度活動計画，新システムへの移行についての

説明等を行った．会議の詳細は，日本透析医会雑誌（Vol. 27-No. 3）に掲載した．

2） 災害時活動

災害時情報活動等は以下の通り

- 関東3県で有害物質検出による取水停止および断水（24年5月20日）
- 青森県東方沖で震度5強の地震（24年5月24日0時2分）
- 長野県北部を震源地とした震度5弱の地震（24年7月10日12時49分，52分，57分）
- 梅雨前線の影響で，熊本，大分を中心に大雨が降り，川が氾濫（24年7月12日）
- 宮城県沖で震度5強の地震（24年8月30日4時5分）
- 北海道浦幌町，釧路市，根室市で震度5強の地震（25年2月2日23時17分）
- 栃木県北部で震度5強の地震（平成25年2月25日午後4時23分）

3） 第13回災害時情報伝達訓練

8月31日に訓練を実施した．44都道府県1,318施設，および中国5県と石川県が独自に行った訓練参加施設数122施設を加えて，計1,440施設が参加し，参加施設数は過去最高となった．

北海道＝ 3	青　森＝15	岩　手＝ 2	宮　城＝43	山　形＝ 23	福　島＝37
茨　城＝ 30	栃　木＝47	群　馬＝ 25	埼　玉＝ 2	千　葉＝104	東　京＝99
神奈川＝ 46	新　潟＝ 3	富　山＝ 48	石　川＝31	山　梨＝ 30	長　野＝67
岐　阜＝ 1	静　岡＝ 9	愛　知＝121	三　重＝30	滋　賀＝ 1	京　都＝ 5
大　阪＝ 81	兵　庫＝23	奈　良＝ 1	和歌山＝ 1	鳥　取＝ 9	島　根＝ 9
岡　山＝ 66	広　島＝56	山　口＝ 11	徳　島＝18	香　川＝ 14	高　知＝23
福　岡＝117	佐　賀＝ 1	長　崎＝ 21	熊　本＝88	大　分＝ 33	宮　崎＝ 3
鹿児島＝ 25	沖　縄＝18				

また，イリジウム通話訓練には本部へ10施設，副本部へ9施設が参加したが，このうち本部通話分2件で電波の状態が安定せず，通話途中で切れる現象が確認された．電子メール通信訓練には10施設がメール送信を実施した．

4） 情報システム・メーリングリスト保守管理

- 「透析医療災害対策メーリングリスト」taisaku_ml 登録アドレス数129
- 「災害時情報ネットワークメーリングリスト」joho_ml 登録アドレス数744

平成 24 年度財務諸表

1. 貸借対照表（平成 25 年 3 月 31 日現在）

（単位：円）

勘定科目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現預金			
現金	19,350	40,139	△ 20,789
ゆうちょ銀行	1,587,839	1,020,719	567,120
りそな銀行 0984222	490,269	193,895	296,374
みずほ銀行	98,854	139,505	△ 40,651
三井住友銀行	57,970	49,020	8,950
三菱東京 UFJ 銀行	20,603,959	5,022,347	15,581,612
三菱東京 UFJ 銀行定期預金	10,003,725	20,002,474	△ 9,998,749
現預金合計	32,861,966	26,468,099	6,393,867
(2) その他流動資産			
未収金（国庫補助金）	0	10,974,000	△ 10,974,000
その他流動資産合計	0	10,974,000	△ 10,974,000
流動資産合計	32,861,966	37,442,099	△ 4,580,133
2. 固定資産			
(1) 基金			
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	202,004,889	0
基金合計	202,004,889	202,004,889	0
(2) その他固定資産			
電話加入権	563,372	563,372	0
淡路建物ビル保証金	6,300,000	6,300,000	0
警備保証金	50,000	50,000	0
退職給付引当預金	2,945,575	2,320,240	625,335
その他固定資産合計	9,858,947	9,233,612	625,335
固定資産合計	211,863,836	211,238,501	625,335
資産合計	244,725,802	248,680,600	△ 3,954,798
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
会費預り金	180,000	30,000	150,000
所得税預り金	255,460	254,250	1,210
健康保険預り金	63,240	68,340	△ 5,100
厚生年金預り金	204,546	228,128	△ 23,582
流動負債合計	703,246	580,718	122,528
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,945,575	2,320,240	625,335
固定負債合計	2,945,575	2,320,240	625,335
負債合計	3,648,821	2,900,958	747,863
Ⅲ　正味財産の部			
1. 一般正味財産	241,076,981	245,779,642	△ 4,702,661
正味財産合計	241,076,981	245,779,642	△ 4,702,661
負債及び正味財産合計	244,725,802	248,680,600	△ 3,954,798

2.　正味財産増減計算書（平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）

（単位：円）

勘定科目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1.　経常増減の部			
(1)　経常収益			
①　研究助成事業基金運用益			
研究助成事業基金受取利息	60,767	101,832	△ 41,065
②　受取入会金			
受取入会金	270,000	450,000	△ 180,000
③　受取会費			
受取会費	88,600,000	87,410,000	1,190,000
④　受取寄付金等			
受取寄付金	25,900,000	23,500,000	2,400,000
受取参加費	380,000	273,000	107,000
⑤　雑収益			
受取利息	10,639	14,723	△ 4,084
雑収入	1,083,755	0	1,083,755
⑥　未収金			
国庫補助金収入	0	10,974,000	△ 10,974,000
経常収益計	116,305,161	122,723,555	△ 6,418,394
(2)　経常費用			
事業費			
調査・研究，普及，教育研修事業	60,736,153	58,360,583	2,375,570
給与手当	8,559,814	9,076,058	△ 516,244
退職給付費用	250,134	105,232	144,902
福利厚生費	40,588	26,445	14,143
会議費	566,615	790,737	△ 224,122
旅費交通費	4,772,400	5,911,510	△ 1,139,110
通信運搬費	1,772,978	1,136,003	636,975
事務消耗品費	1,022,370	1,394,932	△ 372,562
印刷製本費	14,393,121	11,513,383	2,879,738
水道光熱費	124,820	172,028	△ 47,208
家賃	1,866,461	1,995,182	△ 128,721
謝金	0	30,000	△ 30,000
原稿料	2,220,832	2,469,166	△ 248,334
諸会費	102,978	89,824	13,154
警備等委託費	387,072	381,612	5,460
ホームページ管理費	331,380	339,360	△ 7,980
レセプト調査費	8,801,680	7,714,240	1,087,440
日本臓器移植ネットワーク助成費	5,100,000	5,100,000	0
調査・研究費	1,600,000	4,500,000	△ 2,900,000
セミナー開催費	7,157,298	4,333,828	2,823,470
研修費	1,400,000	1,000,000	400,000
雑費	265,612	281,043	△ 15,431
研究助成事業	31,049,254	28,314,201	2,735,053
給与手当	4,279,906	4,538,028	△ 258,122
退職給付費用	125,067	52,616	72,451
福利厚生費	20,294	13,223	7,071
会議費	52,500	60,250	△ 7,750
旅費交通費	340,480	336,300	4,180

（単位：円）

勘定科目	当年度	前年度	増　減
通信運搬費	118,062	102,618	15,444
事務消耗品費	511,185	697,466	△ 186,281
印刷製本費	277,599	244,376	33,223
水道光熱費	62,410	86,014	△ 23,604
家賃	933,230	997,591	△ 64,361
謝金	130,000	150,000	△ 20,000
諸会費	51,489	44,912	6,577
警備等委託費	193,536	190,806	2,730
ホームページ管理費	165,690	169,680	△ 3,990
研究助成費	23,700,000	20,530,000	3,170,000
雑費	87,806	100,321	△ 12,515
安全対策事業	9,474,645	22,833,513	△ 13,358,868
給与手当	2,139,954	2,269,014	△ 129,060
退職給付費用	62,533	26,308	36,225
福利厚生費	10,147	6,611	3,536
会議費	56,000	365,452	△ 309,452
旅費交通費	167,220	70,700	96,520
通信運搬費	775,103	136,609	638,494
事務消耗品費	425,891	348,733	77,158
印刷製本費	85,459	39,973	45,486
水道光熱費	31,204	43,007	△ 11,803
家賃	466,615	498,796	△ 32,181
諸会費	25,744	22,456	3,288
警備等委託費	96,768	95,403	1,365
ホームページ管理費	82,845	84,840	△ 1,995
システム管理費	4,157,259	3,765,800	391,459
災害発生時対応諸経費	800,000	3,977,450	△ 3,177,450
災害時情報ネットワークシステム機能強化（国庫補助金）	0	10,974,600	△ 10,974,600
雑費	91,903	107,761	△ 15,858
事業費計	101,260,052	109,508,297	△ 8,248,245
管理費			
給与手当	6,419,860	6,807,044	△ 387,184
退職給付費用	187,601	78,924	108,677
福利厚生費	30,441	19,834	10,607
会議費	81,200	10,500	70,700
常任理事会費	3,736,142	3,602,471	133,671
総会・理事会費	2,492,992	1,893,886	599,106
旅費交通費	1,574,540	978,870	595,670
通信運搬費	157,294	132,387	24,907
事務消耗品費	766,778	1,046,199	△ 279,421
印刷製本費	256,379	119,919	136,460
水道光熱費	93,615	129,021	△ 35,406
家賃	1,399,846	1,496,387	△ 96,541
会計委託費	1,200,000	1,200,000	0
警備等委託費	290,304	286,209	4,095
報酬	600,000	600,000	0
租税公課	3,300	1,400	1,900
慶弔費	0	0	0
諸会費	77,234	67,368	9,866

（単位：円）

勘定科目	当年度	前年度	増　減
ホームページ管理費	248,535	254,520	△ 5,985
雑費	131,709	150,482	△ 18,773
管理費計	19,747,770	18,875,421	872,349
経常費用計	121,007,822	128,383,718	△ 7,375,896
当期経常増減額	△ 4,702,661	△ 5,660,163	957,502
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用			
経常外収益計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	△ 4,702,661	△ 5,660,163	957,502
一般正味財産期首残高	245,779,642	251,439,805	△ 5,660,163
一般正味財産期末残高	241,076,981	245,779,642	△ 4,702,661
Ⅱ　正味財産期末残高	241,076,981	245,779,642	△ 4,702,661

3. 財産諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

1) 退職引当金の計上基準

期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上することとしている.

2) リース取り引きの処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている.

(2) 固定資産の増減額及びその残高

研究助成事業基金定期預金及び特定資産の増減額及びその残高は，次のとおりである.

(単位：円)

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	0	0	202,004,889
小　　計	202,004,889	0	0	202,004,889
その他固定資産				
電話加入権	563,372	0	0	563,372
淡路建物ビル保証金	6,300,000	0	0	6,300,000
警備保証金	50,000	0	0	50,000
退職給付引当金	2,320,240	625,335	0	2,945,575
小　　計	9,233,612	625,335	0	9,858,947
合　　計	211,238,501	625,335	0	211,863,836

(3) 固定資産の財源等の内訳

基金及びその他の固定資産の財源などの内訳は，次のとおりである.

(単位：円)

科　　目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基金				
研究助成事業基金定期預金	202,004,889			
小　　計	202,004,889			
その他固定資産				
電話加入権	563,372			
淡路建物ビル保証金	6,300,000			
警備保証金	50,000			
退職給付引当預金	2,945,575		(625,335)	(625,335)
小　　計	9,858,947		(625,335)	(625,335)
合　　計	211,863,836		(625,335)	(625,335)

(4)　補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高は，次のとおりである．

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
透析症例に対する Helicobacter pylori 除菌療法によるグレリンに関連した予後改善効果の検討	杉本　光繁	0	2,000,000	2,000,000	0	
女性透析患者におけるファブリー病のスクリーニング	丸山　弘樹	0	1,500,000	1,500,000	0	
血管内皮細胞内インスリンシグナルを用いた劣化腹膜治療法の開発	美馬　　晶	0	2,000,000	2,000,000	0	
オンライン血液濾過透析の効率性の評価，および合併症の抑制効果の検討	岡野　一祥	0	1,000,000	1,000,000	0	
microRNA の虚血・小胞体ストレス応答制御機能と腎不全における病因論の解明	稲城　玲子	0	3,000,000	3,000,000	0	
維持血液透析患者における食事調査方法の妥当性，ナトリウム摂取量と生体指標の関係	小池　清美	0	1,500,000	1,500,000	0	
腹膜透析療法における補体の役割の解明について	水野　正司	0	1,000,000	1,000,000	0	
エマルジョン化治療用遺伝子経皮デリバリー技術による内シャント狭窄の新規遺伝子治療法の開発	森下　義幸	0	1,500,000	1,500,000	0	
腹膜保護と透析効率増強効果を併せ持つ腹膜透析用ナノ粒子の開発	平山　　暁	0	2,000,000	2,000,000	0	
細胞老化制御による血管石灰化の進展抑制機構の解明	山田　俊輔	0	1,000,000	1,000,000	0	
血液透析システムにおける透析液品質の維持向上に関する細菌叢の生理学的研究	大薗　英一	0	1,400,000	1,400,000	0	
AESCULON（非侵襲心拍出量モニター）を用いた脳心血管疾患合併維持透析患者の透析条件と血圧維持療法の適正評価	吉原　史樹	0	800,000	800,000	0	
エンドトキシン捕捉フィルターに捕捉される微粒子に関する研究―多人数用透析装置における過酢酸封入洗浄の影響―	今井　基之	0	1,000,000	1,000,000	0	
マウス腹膜線維症モデルにおける HDAC 阻害剤の線維化抑制効果	井生久美子	0	1,000,000	1,000,000	0	
腹膜中皮細胞障害に関与する遺伝子の網羅的解析と機序の解明	正木　崇生	0	1,000,000	1,000,000	0	
臨床応用を見据えたヒト iPS 細胞から尿細管細胞への分化誘導法の確立	本間康一郎	0	2,000,000	2,000,000	0	
合　　計		0	23,700,000	23,700,000	0	

4. 財産目録（平成 25 年 3 月 31 日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産） 現預金	小口現金	手元保管	運用資金として	19,350
	ゆうちょ銀行		〃	1,587,839
	りそな銀行（0984222）		〃	490,269
	みずほ銀行（1108821）		〃	98,854
	三井住友銀行（5172218）		〃	57,970
	三菱東京 UFJ 銀行（451871）		〃	20,603,959
	三菱東京 UFJ 銀行定期預金		〃	10,003,725
	現預金合計			32,861,966
流動資産合計				32,861,966
（固定資産） 基金	研究助成事業基金 定期預金	三菱東京 UFJ 銀行	研究助成事業の資産であり，運用益を研究助成事業に使用している	202,004,889
	基金合計			202,004,889
その他固定資産	電話加入権	東京都千代田区神田須田町 1-15-2	公益目的保有財産であり，公益目的事業及び管理業務に使用している	563,372
	淡路建物ビル保証金	〃	〃	6,300,000
	警備保証金	〃	〃	50,000
	退職給付引当預金	三菱東京 UFJ 銀行	職員退職金の支払財源として積み立てている	2,945,575
	その他固定資産合計			9,858,947
固定資産合計				211,863,836
資産合計				244,725,802
（流動負債）	会費預り金	ゆうちょ銀行	重複会費の預り分	180,000
	所得税預り金	三菱東京 UFJ 銀行	源泉所得税の未払い分	255,460
	健康保険預り金	三菱東京 UFJ 銀行	健康保険の未払い分	63,240
	厚生年金預り金	三菱東京 UFJ 銀行	厚生年金の未払い分	204,546
	流動負債合計			703,246
（固定負債）	退職給付引当金	三菱東京 UFJ 銀行	職員に対する退職金の支払に備えたもの	2,945,575
	固定負債合計			2,945,575
負債合計				3,648,821
正味財産				241,076,981

第２号議案

役員名簿（案）

1. 理事（50音順）

秋澤　忠男　昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門　客員教授
秋葉　　隆　東京女子医科大学腎臓病総合医療センター血液浄化療法科　教授
井形　昭弘　名古屋学芸大学　学長
太田　圭洋　社会医療法人名古屋記念財団　理事長　（名古屋記念病院）
大平　整爾　医療法人社団東桑会　札幌北クリニック　院長
隈　　博政　医療法人明楽会　理事長　（くまクリニック）
黒田　重臣　くろだ明大前クリニック　院長
指出　昌秀　医療法人社団一秀会　理事長　（指出泌尿器科）
澤　　宏紀　元国立健康・栄養研究所　所長
篠田　俊雄　社会医療法人河北医療財団　河北総合病院　透析センター長
新里　　健　医療法人社団健昌会　理事長　（新里クリニック浦上）
杉崎　弘章　医療法人社団心施会　理事長　（八王子東町クリニック）
鈴木　正司　社会福祉法人新潟市社会事業協会　信楽園病院　顧問
関野　　宏　医療法人宏人会　理事長　（中央クリニック）
土屋　　隆　医療法人輝山会　理事長　（輝山会記念病院）
土谷晋一郎　特定医療法人あかね会　理事長　（土谷総合病院）
戸澤　修平　医療法人社団北辰 理事長（クリニック１・９・８札幌）
西岡　正登　特定医療法人五仁会　理事長　（住吉川病院）
沼田　　明　医療法人尚腎会　高知高須病院　名誉院長
前田　憲志　医療法人有心会　大幸砂田橋クリニック　院長
村上　秀一　医療法人三良会　理事長　（村上新町病院）
山川　智之　特定医療法人仁真会　理事長　（白鷺病院）
山﨑　親雄　特定医療法人衆済会　増子クリニック昴　院長
山下　眞臣　社団法人日本国民年金協会　顧問
山下　達博　医療法人社団博寿会　理事長　（山下医院）
吉田　豊彦　医療法人社団誠仁会　理事長　（みはま病院）

（新規就任）

岩元　則幸　特定医療法人桃仁会　老人保健施設　桃寿苑　施設長
上山　達典　医療法人腎愛会　理事長　（上山病院）
清瀬　　隆　医療法人清栄会　理事長　（清瀬病院）

2. 監事

今　　忠正　医療法人社団東桑会　理事長　（札幌北クリニック）

平成 25 年度 通常総会報告

山﨑会長挨拶

平成 25 年度通常総会の開催に際し，一言ご挨拶申し上げます．

今年度は日本透析医会が公益社団法人となって，初めての診療報酬改定の年となります．日本透析医会はいくつかの役割を持っています．例えば災害対策の時，あるいは事故対策の問題であるとか，いくつかで公益事業を展開しています．研究助成に関してもそうです．しかし，なによりも会員にとって大事なことは，わが国は今までしっかりとした透析医療提供体制だったので，世界で一番の成績が得られていたと思います．しかしながら，今回の診療報酬改定に関しては，政権が変わったということがまず 1 番目，2 番目に小泉内閣の時にあったような経済財政諮問会議が動き出しているという，その二つを考えてもなかなか容易ならざるものかと思っています．

しかしながら，それがもとで例えば日本の透析医療提供体制が崩れるようなことがあっては，あるいは地域のそれこそ透析提供体制が崩れるようなことがあっては，患者さんにも誠に申し訳ないことになります．今年度の診療報酬改定こそ日本透析医会の鼎の軽重を問われているものかと自覚しています．ぜひ皆さま方の英知をお借りして，満足のいく改定が行われればというのをご挨拶に代えさせていただき，お願いをさせていただこうと思っています．短い時間になりますので，今回の総会の決議に関して，ご協力をよろしくお願いいたします．どうもありがとうございました．

議長選出

鈴木正司　副会長を選出

議事録署名人

隈　博政　理事

戸澤修平　理事を選出

議　事

第 1 号議案　平成 24 年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件

常務理事山川智之氏から総会資料に基づき事業報告について 1．会議　2．委員会　3．会務報告の順に説明があり，併せて専務理事杉崎弘章氏から財務諸表について詳細な説明が行われた．引き続いて監事今忠正氏から「平成 24 年度決算の監査結果は妥当であった．」旨，報告されたのち，議長による採決が行われ満場一致で承認された．

第 2 号議案　役員の任期満了に伴う新役員の承認を求める件

会長山﨑親雄氏から「任期満了に際して，現理事の 26 名について引き続き再任していただきたい．青木正理事の退任に伴い後任に関西ブロック選出の岩元則幸氏を新規に選任していただきたい．また，九州ブロック選出の上山達典氏及び清瀬隆氏を新規に選任していただきたい．監事は，今忠正氏に引き続きお願いする．併せて，退任される青木正氏については，顧問をお願いしたい．」旨，提案があり，別添議案のとおり全員異議なく承認された．